



全国公立学校教頭会通信 第8号

きずな

東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会

発行 令和6年1月11日

全国公立学校教頭会広報部

電話： 03-3436-4868

Mail： zenkokyo@kyotokai.jp

HP： <https://kyotokai.jp>

令和5年度 第43回東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会の概要をお伝えします。

※全公教東北ブロック長 福島市立北信中学校教頭 村上 淳先生・東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会
実行委員長 郡山市立開成小学校教頭 宍戸正弘先生にご協力いただきました。

1 研究大会名称 第43回東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会

第32回福島県公立小・中学校教頭会研究大会

2 開催日 令和5年11月9日(木)・10日(金)

3 会場 福島県郡山市 ホテルハマツ けんしん郡山文化センター

4 日程

【1日目】

受付 12:00～13:00

分科会 13:00～16:00

【2日目】

受付 9:30～9:50

開会式 9:00～11:10

記念講演 10:30～12:00

閉会式 12:10～12:30



5 研究大会の概要

(1) 研究大会主題 「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」

～自分の人生を切り拓くたくましさを育む「福島ならではの」学校づくりを目指して～

(2) 分科会 ① 開会行事 ② 分科会

(3) 開会式 ① 祝辞(郡山市長、福島県教育委員会教育長、郡山市教育委員会教育長、福島県中学校長会会長)
② 来賓紹介

(4) 記念講演【演題】「轍をゆくな。轍をつくれ」 【講師】 箭内 道彦 氏

(クリエイティブディレクター 東京藝術大学 学長特命・美術学部デザイン科教授)

(5) 閉会式 ① 主催者挨拶(東北地区小中学校教頭会会長) ② 次期東北大会開催県代表挨拶(宮城県小中学校教頭会会長)

6 研究大会のふりかえり



本研究大会は4年ぶりに東北各地から約900名近くの教頭先生方をお迎えして、完全参加型による大会を開催することができました。開催都市郡山の会場設定の関係で、従来の初日に開会行事、記念講演、2日目に分科会という流れが入れ替わる形の開催となりました。

1日目の分科会開催にあたり、大会実行委員長から開催の挨拶と本大会の意義について趣旨説明を行いました。その後の分科会では、全国統一研究主題を受けて5課題6分科会(第1課題はA・Bの2分科会)を設定し、12の提言をもとに協議を行いました。協議の柱「地域や社会に開かれた教育課程」「地域連携・小中連携」「教育の情報化推進」「危機管理」「教職員の資質向上」等について自校の取り組みをもとに5～6名の小グループで実践の共有と情報交換を行いました。創意工夫に富んだ実践や教頭職としての共通の悩みを共有する中で、熱心な協議や共感の笑顔などが見られ、参加による分科会の開催のよさを改めて実感することができました。

2日目の記念講演では、地元出身のクリエイティブディレクターの箭内道彦氏をお招きして、「轍をゆくな。轍をつくれ」と題してご講演をいただきました。講師の人生経験をもとに、郷土「ふくしま」に対するおもしろいエピソードを自身が作曲した楽曲や映像資料を含め、感動的なプレゼンテーションを行ってくださいました。東日本大震災という未曾有の体験を共有した東北地区の教頭先生たちにとって、自身の経験と相まって涙をそそる場面も多くみられました。最後に大会参加者のアンケートの中から、印象的なものを紹介します。「整理しきれないほどの活発な意見交換がありました。爽り多いものだったので、早速自校に活かせるように提案していきます。」「自分の生き方を見直すきっかけをもらいました。」「改めて東北が一枚岩となって復興の道を歩んでいく思いが確認できた。」「フロンティア精神をもって職務に向かうという意欲をもつことができました。勇気づけられました。」「感動しました。がんばれそうです。」